

あかつかやま

2016年10月 No. 65



園内に生えたキノコ

CONTENTS

・ 特	集	豊川市の水生生物 No.1	浅香智也	2
・ 報	告	秋の“ぎよ長”の水族館		4
・ 付	録	発見！あかつかやま		5
・ 募	集	みんなの写真展 2017 の作品募集		6

特集

豊川市の水生生物 No.1

- 御津川・室川・西古瀬川・白川 -

1. はじめに

赤塚山公園では、学習プログラムという豊川市内の小・中学校の児童・生徒を対象に、魚・動物・植物などの生態に関係した学習を支援する活動があります。このプログラムを利用した平尾小学校の授業「川の生き物調べ」の結果を、機関誌あかつかやまNo55「特集 平尾小学校区の白川と西古瀬川の生き物」で報告しました。学習プログラムの情報は、学校から学校へと広がり、年々申し込みが増えています。

今回、学習プログラムで支援した各小学校の「川の生き物調べ」の結果をまとめたところ、豊川市の水生生物の状況が少し分かりましたので報告します。

2. 場所と採集方法

御津川の観音橋は御津北部小学校、室川の築田橋は萩小学校、西古瀬川の中田橋は平尾小学校、西古瀬川の新堀橋は八南小学校、白川の東名高速上流は平尾小学校、白川の下野橋付近は八南小学校の児童たちが、水生生物の採集を行いました(写真1~6; 図1)。その他にも、西古瀬川の新堀橋付近と白川の下野橋付近で赤塚山公園の職員3人(浅香・岩田・峯)が事前観察を行いました。室川、西古瀬川、白川は、音羽川水系になります。タモ網やサデ網を用いて、河川に入り採集しました。採集時間は、30分から60分の間でした。採集を行った後に赤塚山公園の職員(浅香・杉浦(篤))が、どのような生物かを確かめました。



写真1. 御津川観音橋



写真2. 室川築田橋



写真3. 西古瀬川中田橋



写真4. 西古瀬川新堀橋



写真5. 白川東名高速上流



写真6. 白川下野橋

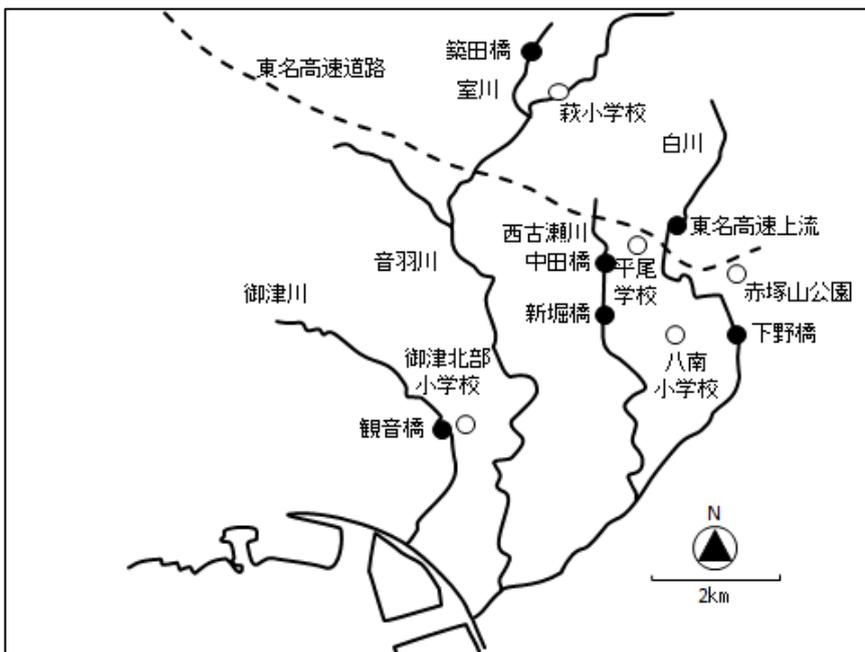


図1. 採集を行った場所の略図

表1. 御津川・室川・西古瀬川・白川の水生物

	河川 場所 年 月日 学校 学年 採集人数 生物同定者	御津川 観音橋 2015年 10月26日 御津北部 3 33 浅香	室川 築田橋 2016年 5月21日 萩 3 18 浅香	西古瀬川			白川			
				中田橋 2015年 6月19日 平尾 3 42 浅香	新堀橋 2016年 6月27日 平尾 3 56 杉浦	新堀橋 2016年 6月20日 八南 4 105 杉浦	東名高速上流 2015年 7月13日 平尾 3 42 杉浦	東名高速上流 2016年 7月4日 平尾 3 56 浅香	下野橋 2016年 6月17日 八南 4 105 浅香・杉浦	
魚類	コイ科	コイ <i>Cyprinus carpio</i>					○			
		フナ類 <i>Carassius</i> sp.			○	○	○			
		タイリクバラタナゴ <i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>						○		
		オイカワ <i>Opsariichthys platypus</i>			○	○	○	○	○	
		カワムツ <i>Candidia temminckii</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヌマムツ <i>Candidia sieboldii</i>			○	○	△		○	
		モツゴ <i>Pseudorasbora parva</i>				○	○			
		タモロコ <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>			○		○			
		カマツカ <i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>			○	○		○	○	
	ドジョウ科	ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			○			○	○	
		トウカイナガレホトケドジョウ <i>Lefua</i> sp.2	○							
	アユ科	アユ <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	○							
	タウナギ科	タウナギ <i>Monopterus albus</i>				○	△			
	カダヤシ科	カダヤシ <i>Gambusia affinis</i>					○			
	メダカ科	ミナミメダカ <i>Oryzias latipes</i>			○	○	○			
	カジカ科	ウツセミカジカ <i>Cottus reinii</i>	○							
	ドンコ科	ドンコ <i>Odontobutis obscura</i>					○	○		
	ハゼ科	カワヨシノボリ <i>Rhinogobius flumineus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		トウヨシノボリ <i>Rhinogobius</i> sp. OR					○			
		スミウキゴリ <i>Gymnogobius petschiliensis</i>					△		○	
両生類	アカガエル科	トノサマガエル <i>Rana nigromaculata</i>	○	○			○			
		ツチガエル <i>Rana rugosa</i> Temminck	○				○			
		ウシガエル <i>Rana catesbeiana</i>			○		△			
	ヌマガエル科	ヌマガエル <i>Fejervarya kawamurai</i>	○			○		○		
爬虫類	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ <i>Trachemys scripta elegans</i>					△			
昆虫類	不明	カゲロウ目の一種	○							
	イトトンボ科	イトトンボ科の一種					△			
	カワトンボ科	ハグロトンボ <i>Calopteryx atrata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	サナエトンボ科	コオニヤンマ <i>Sieboldius albardae</i>						○		
		ヤマサナエ <i>Asiagomphus melaenops</i>			○					
		サナエトンボ科の一種				○	○	○	○	
	オニヤンマ科	オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i>						○		
	エソトンボ科	コヤマトンボ <i>Macromia amphigena amphigena</i>						○		
	アメンボ科	アメンボ <i>Aquarius paludum</i>	○				○		○	
		シマアメンボ <i>Metrocoris histrio</i>	○							
	ヘビトンボ科	ヘビトンボ <i>Protohermes grandis</i>	○							
	ゲンゴロウ科	コシマゲンゴロウ <i>Hydaticus grammicus</i>	○							
	ガムシ科	ヒメガムシ <i>Sternolophus rufipes</i>	○							
甲殻類	ヌマエビ科	ミシレヌマエビ <i>Caridina leucosticta</i>	○							
		ミナミヌマエビ <i>Neocaridina denticulata</i>				○		○	○	
		ヌマエビ科の一種					○			
	テナガエビ科	スジエビ <i>Palaemon paucidens</i>					△			
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ <i>Procambarus clarkii</i>	○		○	○	○	○	○	
	サワガニ科	サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i>	○							
	モクズガニ科	モクズガニ <i>Eriocheir japonica</i>	○							
貝類	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ <i>Pomacea canalicula</i>	○		○	○			○	
	タニシ科	ヒメタニシ <i>Sinotaia quadrata histrica</i>			○			○	△	
		タニシ科の一種			○					
	カワニナ科	カワニナ <i>Semisulcospira libertina</i>	○	○			○	○	○	
		チリメンカワニナ <i>Semisulcospira reiniana</i>					○	○	○	
	モノアラガイ科	モノアラガイ <i>Radix japonica</i>			○					
	サカマキガイ科	サカマキガイ <i>Physa acuta</i>					○			
	イガイ科	カワヒバリガイ <i>Limnoperna fortunei</i>	○							
	インガイ科	インガイ <i>Unio douglasiae</i>							○	
	シジミ科	シジミ類 <i>Corbicula</i> sp.			○	○	△	○	○	
		採集場所別合計種数	16	11	16	18	26	10	19	18
		河川別合計種数	16	11		34		25		

注1. オオキンブナとギンブナを区別せずフナ類として、またマシジミとタイワンシジミを区別せずシジミ類として扱った。

注2. ○は学習プログラムで、△は2016年6月10日の事前観察で確認した種。

3. 結果および考察

採集された水生生物は表1のとおりで、御津川は16種、室川は11種、西古瀬川は34種、白川は25種が確認できました。ただ、この中には、種類が確かめられない〇〇の一種というものもありました。種類が分かれば、種数が増えるかもしれません。室川は種類が少ないですが、外来種が生息しておらず、希少な生物が生息していました。西古瀬川は種類が特に多いですが、外来種も多く確認できました。生物の種数が増えれば自然環境がいいと思われていますが、種数が少なくても、もともとその地域に生息していた生物が残っている自然環境のほうが良いのです。

今回、学習プログラムの内容をまとめNo1としました。赤塚山公園では、展示生物の採集も行っています。学習プログラム以外の採集状況も含め、豊川市の水生生物の状況をNo2・No3・・・と続けて報告していきたいです。

飼育員 浅香智也

報告



今年も、9月17日、18日、19日の3日間に「秋の“ぎょ長”の水族館」を行いました。ぎょぎょランドを午後8時まで延長開館し、午後5時から真暗な水族館を楽しみました。後半は、あいにくの天気でしたが、ぎょぎょランドは大勢のお客様でにぎわっていました。



先着100名の方を対象にクイズラリーを行いました。懐中電灯で、問題を探してクイズを解いていきます。お父さん、お母さんも、一緒に考えてくれました。もちろん、暗い水槽の中の生き物を観察している方もたくさんいました。いつもとは、違った見方ができて楽しそうでした。



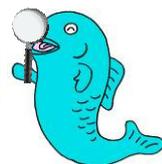
クイズラリーに参加をすると、おもちゃの金魚すくいを体験できました。



事前に募集した、光るさかなのぬりえを展示しました。とても、幻想的な空間できれいでした。

付録

発見!あかつかやま



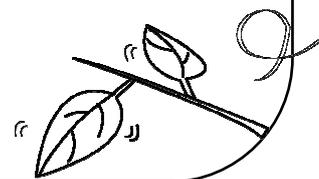
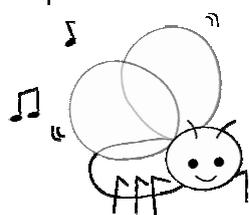
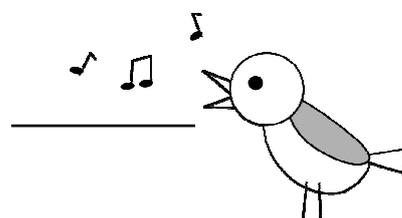
こうえん^{へん}編 ~ みみをすましてみよう ~

もりのなかの あんぜんな ばしょで たちどまり

しばらく めをとじて みみを すましてみよう!

どんなおとが きこえてくるかな?

きこえたおとを かきだしてみよう!



○きこえた おとについて かぞくや ともだちと はなしてみよう!

○きこえた おとを だしている いきものや ものを さがしてみよう!

(このふろくに こたえはありませんが、ヒントがよういしてあります。まどぐちへどうぞ。)

募集

みんなの写真展 2017 の作品募集

内容：平成29年2月15日（水）～3月20日（月）の期間に実施する
企画展「みんなの写真展」に展示する作品を募集しています。

募集期間：平成28年12月28日（水）午後5時まで

園内で撮ったものなら、なんでもOK。

※参加者には展示終了後、パネルに加工した作品をプレゼントします。



メールからも応募できるようになりました！
左のQRコードを読み取ると、メールフォーム
が立ち上がります。

応募方法の詳細は、ぎよぎよランド窓口でお配り
している「作品応募要項」をご覧ください。

また、豊川市のホームページからもダウンロード
できます。

行事・イベントの報告

平成28(2016)年8月～

平成28(2016)年9月

8/1 豊川市教員初任者研修

8/3・10・17・24・31

バックヤード見学 参加者 98人

8/4 豊川市立音羽中学校 2年生 5人

職場インタビュー

8/5 サマースクール3回目 参加者 3人

8/5・10・17 社会体験研修

豊川市立御油小学校 1人

8/19 豊川市生活科主任夏季研修会 51人

8/21 サマースクールプレミアム

参加者 4組 8人

9/17・18・19 秋のぎよ長の水族館

参加者 1410人

9/19 イオン豊川店 チアーズクラブ

ガイドツアー・バックヤード見学 9人

9/28 愛知県立豊橋特別支援学校

5年生 8人 ポニーのふれあい

コイのエサやり

9/30 田原市立田原東部小学校

2年生 57人 命の大切さ

9/30 豊川市立長沢小学校 4年生 36人

出前授業「環境学習」

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称：豊川市長 山脇 実

登録番号：動東第119号

事業所の名称：豊川市赤塚山公園

登録年月日：平成18年9月28日

事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1-30

有効期限の末日：平成33年9月27日

動物取扱業の種別：展示

動物取扱責任者：前田 民男

編集・発行

あかつかやま No. 65 2016/10/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上 1-30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は 12月15日発行です。